

◆ 今週のコメント

- ・ E型肝炎の報告が1例あり、平成18年の2例(推定感染地域は、中国1例、国内1例)以来の報告です。
- ・ レジオネラ症の報告が1例あります。累積報告数は19例で、性別では、男13例、女6例、年齢階級別では、30歳代2例、50歳代1例、60歳代以上16例、推定感染経路では、水系感染7例、じんあい感染1例、その他11例です。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.95で、過去5年平均値(0.73)を上回っており、第48週以降増加傾向を示しています。
- ・ 百日咳の報告が1例(10～14歳)で、第44週以来の報告です。本年の累積報告数は、既に55例で、平成12年以降の年報告数(17～39例)と比べても多くなっています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は2.78で、前週(第50週 1.87)に1.0を超え、増加しており、今後の動向に注意が必要です。
詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類: 結核 6例(喀痰塗抹陽性 3例, 無症状病原体保有者 0例)
【1月以降の累積報告数 365例(喀痰塗抹陽性 113例, 無症状病原体保有者 34例)】
- ・ 四類: E型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 19例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	2.78	189
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	10.10	414
	② 水痘	1.02	42
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.95	39
	④ 突発性発しん	0.41	17
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.39	16
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルスA4型(1)	股関節炎(第25週)	FC	肺炎球菌(1)	かぜ症候群(第41週)	NP
エコーウイルス30型(1)	かぜ症候群(第42週)	NP	黄色ブドウ球菌V型(1)	かぜ症候群(第42週)	NP
ポリオウイルス1型(3)	かぜ症候群(第42週) かぜ症候群(第43週) 感染性胃腸炎(第45週)	NP NP FC	A群溶血性レンサ球菌(1)	かぜ症候群(第41週)	NP
インフルエンザウイルスAH3型(1)	インフルエンザ(第46週)	NP	インフルエンザ菌b型以外(2)	かぜ症候群(第41週) かぜ症候群(第43週)	NP NP
RSウイルス(2)	かぜ症候群(第41週) かぜ症候群(第41週)	NP NP			

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

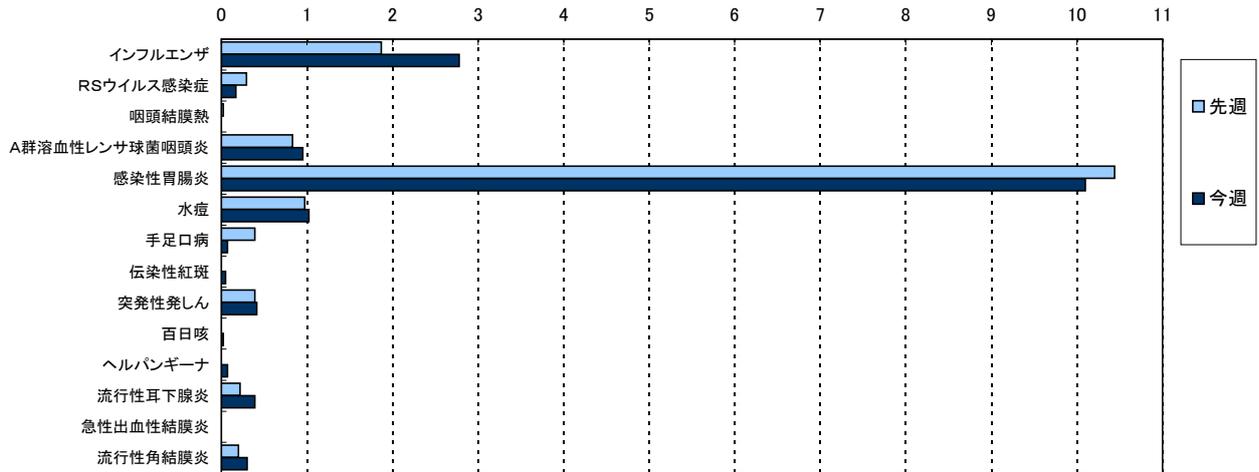
(注) 京都市のデータは、平成20年12月26日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

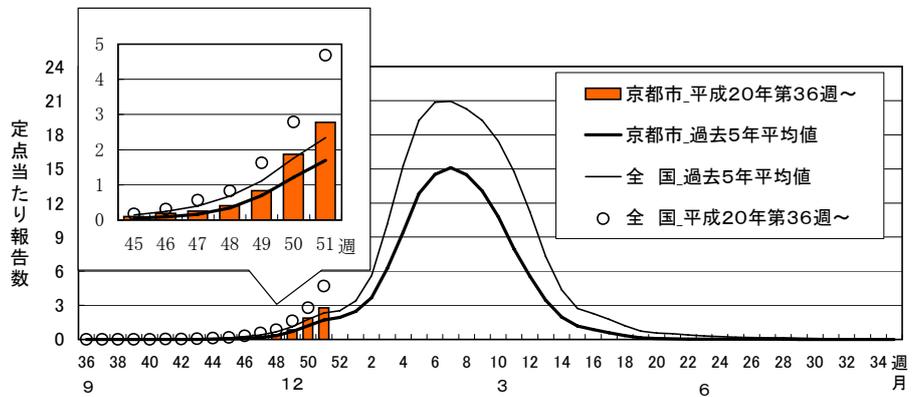
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第51週)と先週(第50週)の定点当たり報告数の比較



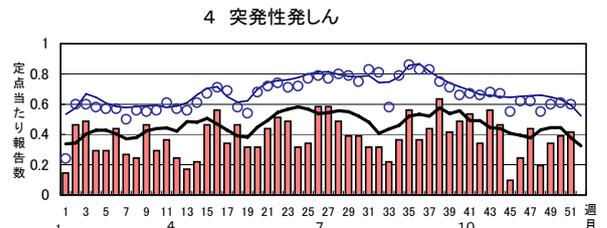
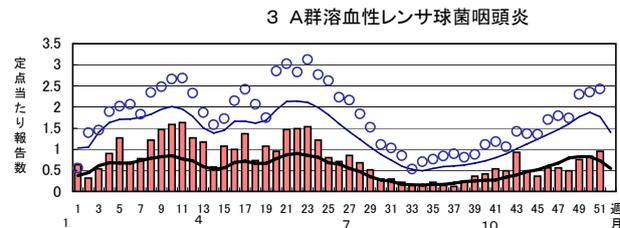
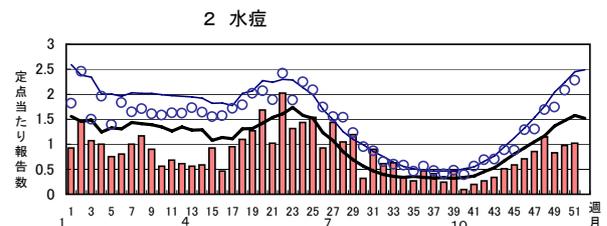
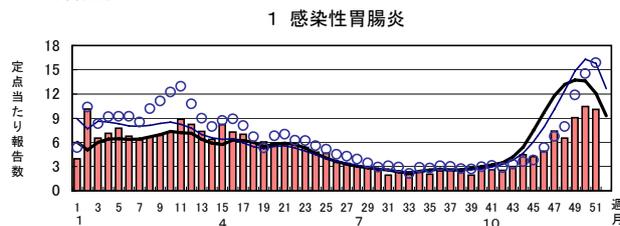
2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
第47週	17
第48週	28
第49週	57
第50週	127
第51週	189
累積報告数 (第36週以降)	443

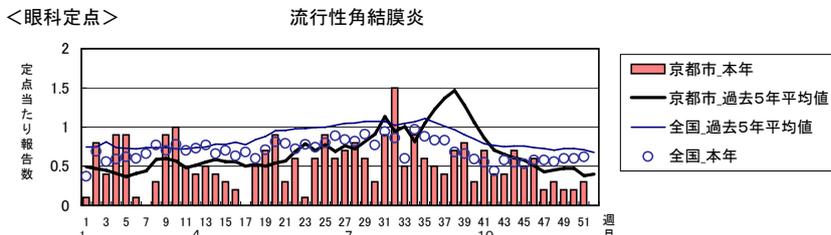


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第51週)のトピックス: <インフルエンザ>

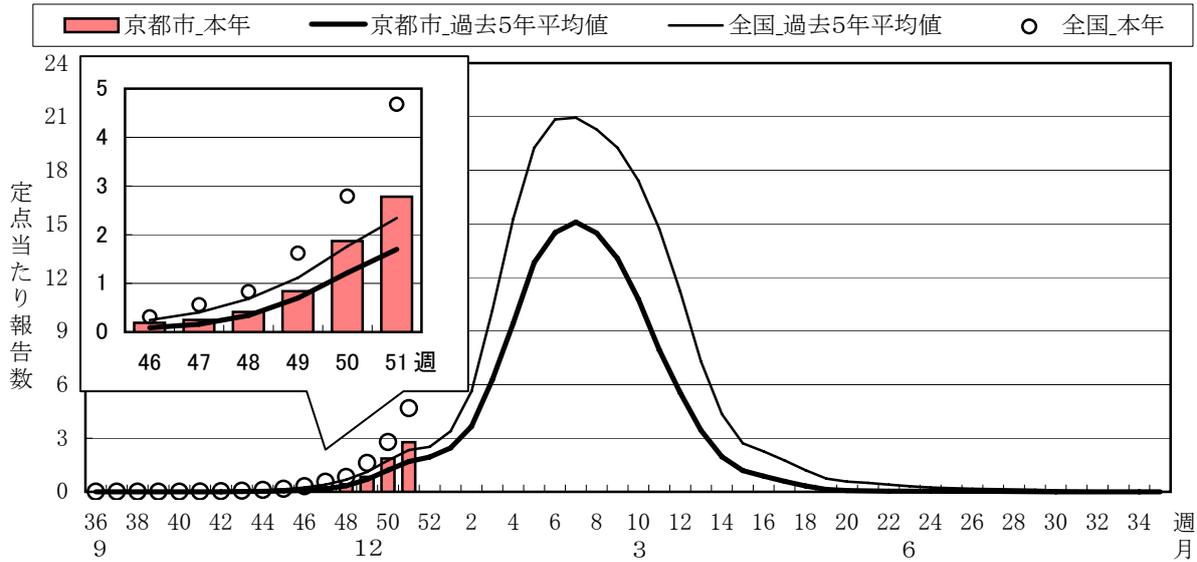
インフルエンザの定点当たり報告数は2.78で、前週(第50週 1.87)に1.0を超え、増加しており、今後の動向に注意が必要です。

定点当たり報告数の多少がそのまま行政区での発生の大きさを表しているわけではありませんが、行政区別にみると、先週から増加しているのは、11行政区中7行政区です。

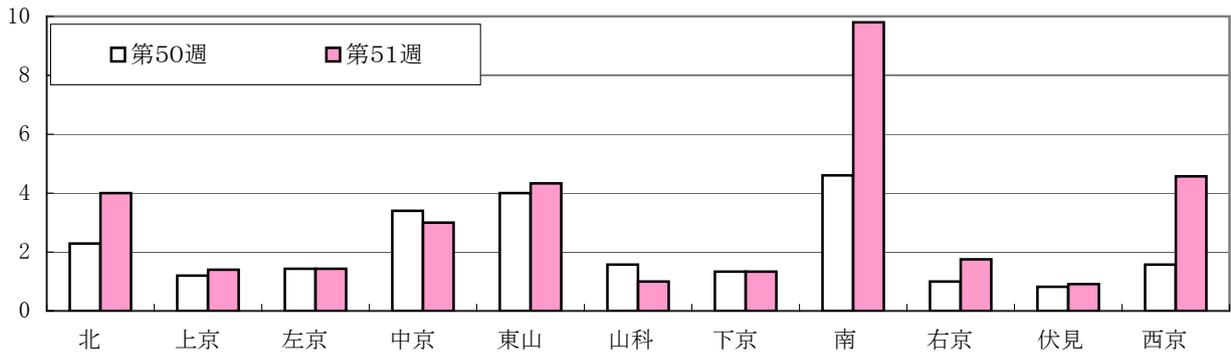
年齢階級別割合をみると、5～9歳が21.7%と最も多く、全国(34.1%)でも同じです。しかし、本市の20歳以上の割合は、45.0%で、全国(22.5%)に比べ多くなっています。

今シーズンのインフルエンザウイルスは、12月28日現在、本市では、AH3型 1例、B型 1例、全国では、A(H1)型 157例、A(H3)型 207例、B型 84例となっています。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移(平成20年36週～)



行政区別の定点当たり報告数の推移



全国及び京都市の年齢階級別割合

